

## 小豆島夏季研修が行われました

8月6日(土)、小豆島夏季研修が学生の企画も取り入れて実施されました。徳島文理大学と高松大学から学生と教職員26名が参加して、交流会と小豆島の教育遺産、史跡の見学を行いました。

小豆島までの時間を利用してフェリーの中で、自己紹介や興味を持って取り組んでいること、教職に向けての抱負などについて話し合いを行いました。

小豆島ではまず、「岬の分教場」(旧苗羽小学校田浦分校)を見学しました。昭和46年まで使われていた木造校舎の教室や木製の机椅子、古いオルガン、展示されている戦前の教科書など、興味深く見ることができました。

「二十四の瞳」映画村では、「壺井栄 文学館」に行き、小説「二十四の瞳」を書いた壺井栄さんの生涯やその作品についての展示を見学しました。また、映画「二十四の瞳」の撮影で使われた校舎のセットなども見ることができました。

午後には、史跡「大阪城残石公園」を見学しました。大阪城の築城に使われた石が残されている場所を公園として整備し、石の切り出しや加工、運搬の方法等を説明した展示施設もありました。

教員をめざす学生が交流しながら、教育のこと、地域の歴史や文化を学ぶことができました。

**フェリーの中で、自己紹介や興味を持って  
取り組んでいること、教職に向けての抱負な  
どを語り合う交流会を持ちました**



## 岬の分教場にて



岬の分教場 校門



岬の分教場 木造校舎



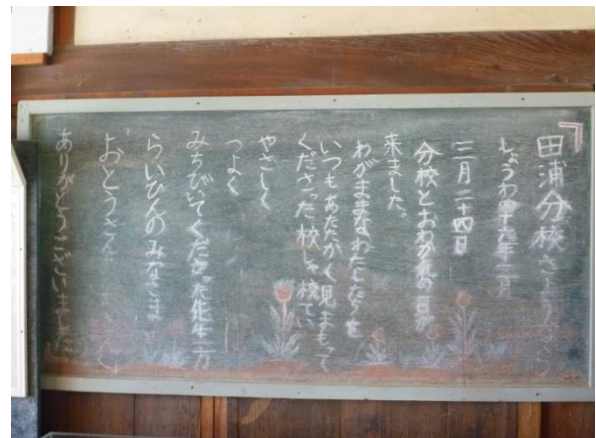
岬の分教場 玄関



磨き抜かれた廊下



教室 木製の机椅子 オルガン



黒板に残る分校最後の日の児童の感謝の言葉

## 「二十四の瞳」映画村にて



壺井栄 文学館



映画村に展示されているボンネットバス

## 大阪城残石公園にて



港に残された石



陸上の運搬



筏を使って海上の輸送



大阪城残石公園で記念撮影をしました